

# I K A G O 通信

滋賀県湖北地域振興局木之本建設管理部  
〒 529-0426 滋賀県伊香郡木之本町黒田 1234  
TEL 0749-82-3434 FAX 0749-82-2654  
E-mail [ha36@pref.shiga.jp](mailto:ha36@pref.shiga.jp)  
URL <http://www.pref.shiga.jp/h/ki-doboku/>

いよいよ夏本番！ ‘夏パテにはうなぎ’ というように「土用の丑の日」にはうなぎを食べます。これは、有名な蘭学者である平賀源内が、繁盛しないうなぎ屋の看板に「本日土用の丑の日」と書き、そのうなぎ屋が大変繁盛したのが始まりだと言われています。初夏の時期は、奥琵琶湖産の天然うなぎが絶品だそうです。暑い夏を乗り切るために、一度ご賞味を！！



奥琵琶湖（木之本町飯浦から）

## お知らせボックス

### 土砂災害防止法に基づく基礎調査にご協力をお願いします。

土砂災害防止法とは、土砂災害（がけ崩れ、土石流、地滑り）から住民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれのある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や一定の行為の制限を行うものです。

7月から8月にかけて、管内の一部地域のがけ崩れや土石流が発生するおそれのある箇所、現地確認調査を始めます。皆さまの集落周辺の裏山に調査員が立ち入ることもありますが、調査員は身分証明書を携帯しておりますので、ご安心いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

調査対象地域には事前に連絡させていただきます。



お問合せ先

土砂災害から身を守るために、「日頃の備え」と「早めの避難」を心掛けましょう。

計画調整課	計画調整担当	TEL : 0749-82-3881	E-mail : <a href="mailto:ha3602@pref.shiga.jp">ha3602@pref.shiga.jp</a>
河川砂防課	砂防担当	TEL : 0749-82-3962	E-mail : <a href="mailto:ha3606@pref.shiga.jp">ha3606@pref.shiga.jp</a>

## ことばNOW

### 河川愛護月間

7月は、河川愛護月間！ 7月7日は「川の日」です。



毎年7月の河川愛護月間は、生活にうるおいを与える水と緑のオープンスペースとしての河川空間に対する皆さまの期待に応えるために、昭和49年に定められたものです。河川についての理解と関心を深め、地域住民、市民団体や関係行政機関等による流域全体の良好な河川環境の保全・再生を積極的に推進し、河川愛護の思想について、広く皆さまにご理解いただくことを目的としています。

河川愛護月間には、河川の美化、水面の利用、川の指導者等の人材育成の支援、河川についての広報活動、

河川愛護団体の育成・支援、各種イベントの開催など、毎年数多くの河川愛護運動が展開されています。



平成14年度 河川愛護運動 勘定川（余呉町池原）

**各課紹介 第6回 道路計画課 維持補修担当**

道路計画課維持補修担当では、これまでに建設され、利用されてきた道路・橋梁を維持する業務を行っています。人が造った物は必ず壊れます。そこで、壊れそうな物を壊れるまでに直すとか、残念ながら「ちょっと」壊れてしまった物を直し、長く使っていただくのが維持補修担当としての仕事です。

主な業務としては、道路・橋梁の維持補修、災害で壊れた道路・橋梁の復旧工事、交通安全施設の整備などです。除雪や草刈りなども大切な仕事です。

わたしたちは、いつでも安心して快適に通れる道路・橋梁を維持して行くことを目指しています。

TEL：0749-82-3889 E-mail：ha3605@pref.shiga.jp



葛籠尾崎大浦線 道路補修工事（舗装）



国道365号 交通安全施設整備工事（道路情報表示板）

**地域の魅力 バス釣りに行こう！**

バス釣りの季節がやってきました。ブラックバスは、別名オオクチバスとも呼ばれ、北アメリカ原産の外来魚です。在来魚種への食害が大きい問題となっている魚です。

さて、ブラックバスは琵琶湖岸であればどこでも釣ることができます。みなさんも一度チャレンジされてはいかがでしょう。

滋賀県では、滋賀県琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例（琵琶湖ルール）により外来魚のリリース（再放流）が禁止されています。釣り上げた外来魚は、回収いけすまたは回収ボックスへ投入いただくよう、ご協力をお願いします。伊香郡内では、片山漁港と大浦漁港に回収いけすが設置されています。

**守ろう 広めよう 琵琶湖ルール**

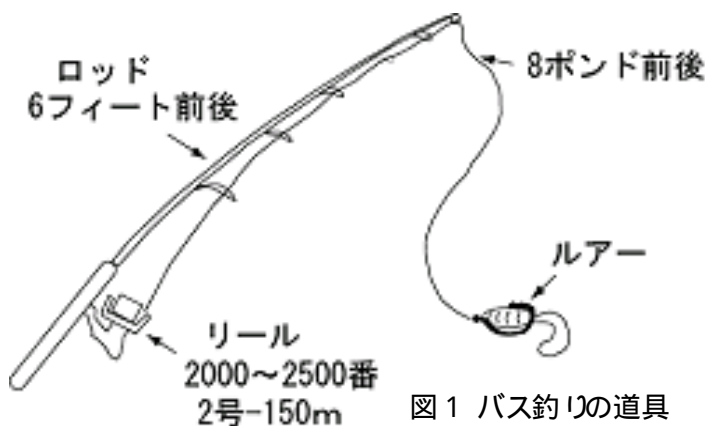


図1 バス釣りの道具



ブラックバス (オオクチバス)



回収いけす

古道紀行 はっそうとうげ 八草峠 きのもとちょうかねいはら (木之本町金居原)

八草峠は、滋賀・岐阜県境にあるかなくそだけ 金糞岳とつちくらだけ 土蔵岳の中間に位置します。現在行っている国道303号バイパス工事のうち八草トンネルが平成13年に開通するまでは、国道303号がこの峠を通過していました。昭和25年にできた八草林道が県道となり、昭和43年に国道に昇格したものです。

この道路ができるまでは、400mほど北にあるひのうらごえ 日の裏越え、さらに北ののぼりだに 登谷といさか イ坂を結ぶ旧八草峠が、きたあのみ 北近江とにしみの 西美濃の交流を支えていました。旧八草峠は、ひさかごえ 久加(日坂)越えといわれ、山を埋める樹木の中にきこり道 きこり道が細々とついているだけでした。この峠にはひこねはん 彦根藩2代藩主はんしゅい 井伊直孝がりょうちけんぶん 領地検分の折りに植樹

したといわれる松があり、直孝松と呼ばれています。幾重もの山並みにへだてられた北近江と西美濃でしたが、今日考えられる以上に交流は活発だったようです。こんいん 婚姻による人の交流をはじめ、こうぞ 炭、くさ 藁草、こぞ 楮(美濃紙の原料)等の物資、情報、文化、あらゆる面で強い結びつきが認められます。山を生業とする人々にとって山並みはへだたりではなかったようです。

国道303号バイパス工事の全体が完成すると、これまで60分かかっていた木之本町金居原～いび郡 揖斐郡坂内村川上の峠越えが、僅か12分になります。滋賀・岐阜両県のさらなる交流や連携、地域の活性化に大きく役立つものと期待されます。



国道303号現道 八草峠



国道303号バイパス 八草トンネル

みらしるべ あめのもりほうしゅうあん 雨森芳洲庵 たかつきちょうあめのもり (高月町雨森)



雨森芳洲は、1668年(寛文八年)雨森村(現在の高月町雨森)に生れたと伝えられる江戸時代の儒学者です。雨森氏は江北の土豪で、戦国期には浅井家に仕えたようですが、小谷城の落城とともに没落したといえます。

芳洲は、17歳頃から木下順庵の門に学び、「文は芳洲、詩は白石」と称されるなど、文章の秀逸さは木門随一といわれました。22歳の時、対朝鮮外交の窓口である対馬藩に仕えました。「ことばを知らず如何に善隣ぞや」と釜山に留学して朝鮮語を学び、『誠信外交』つまり「外交の基本は真心の交わりである」と主張し、日本と朝鮮の善隣外交に尽力しました。その思想は、現代の複雑な国際社会にあっても、燦然と光り輝く不朽の提言といえましょう。



東アジア交流ハウス「雨森芳洲庵」は、その遺徳と業績を賛え、国際人としての先覚者を生んだ湖北の風土と文化を伝えようと、芳洲の生家跡に建てられました。芳洲の著書や遺品、郷土資料、朝鮮通信使に関する文献などが展示されています。

自動車：北陸自動車道木之本ICより10分  
電車：JR北陸本線高月駅より徒歩25分  
TEL：0749-85-5095

## 砂防事業 曲谷川 通常砂防（木之本町杉野）

土石流対策として山間に堰堤を設置している、曲谷川通常砂防事業を紹介します。

この曲谷川の現場では、水生生物の生息に配慮し、平常時は溪流の連続性を維持し、洪水時には土石流をくい止めるスリット式堰堤（透過型の堰堤）を設置しました。また、堤体に間伐材を貼り付けることにより、周辺の風景にとけ込むよう配慮しています。



曲谷川 砂防堰堤

### ニュース 土砂災害危険箇所パトロールを実施

管内の8割以上が山地である木之本建設管理部では、本格的な出水期を前にした6月18日に土砂災害危険箇所のパトロールを行いました。

過去に土砂災害が発生した箇所などを、警察、郵便局、砂防指定地見張員、地域住民と協働で巡視しました。



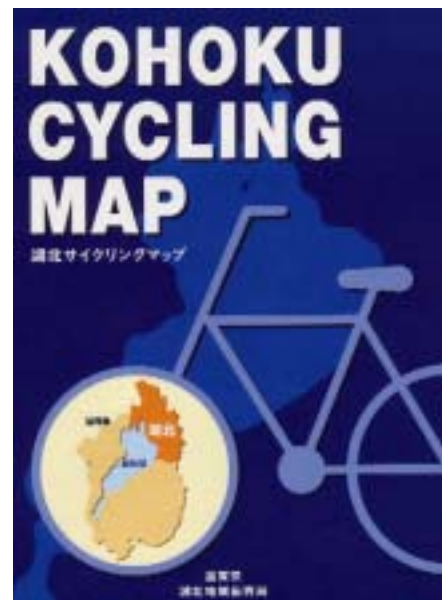
危険箇所パトロール状況

## 計画調整課 サイクリング道しるべ整備事業

滋賀県では、湖北地域のJR駅を起終点とするサイクリングコースを設定して、「湖北サイクリングマップ」作成しています。しかし、コースを案内する現地の標識がまだまだ不足しています。そこで、現地に統一性のある案内標識を設置することにより、数多い湖北の名所・旧跡のネットワーク化を図り、より輝きを増すものにしてほしいという取り組みを進めることになりました。

平成15年6月18日には、滋賀県と湖北地域各市町の道路・観光関係者によるワーキング「サイクリング道しるべ整備計画検討委員会」を設置しました。ワーキングでは、案内標識のデザインや設置位置を検討するとともに、シンボルマーク、愛称の公募を実施することにしています。

公募の詳細については、8月より広報紙、ホームページなどに掲載します。たくさんのご応募をお待ちしています。



湖北サイクリングマップ

### 編集後記

ちよっとうっとおしい梅雨空、アジサイが美しく咲いているのを横目で見ながら原稿を考えていると、（締め切り）の声が聞こえてきそうです。何を伝えるのか、どう取り上げるのか、わかりやすく表現することのむつかしさ、ウーン・ウーンと編集委員のうめき声が聞こえてきそうです。そんな中「発行部数を増やそう」などと大胆な意見も出て・・・委員一同ますます張り切っています(^;) 期待してください。ご愛読に感謝しながら、皆様からのご意見お待ちしております。

発行 木之本建設管理部パブリシティ委員会 事務局 計画調整課 TEL 0749-82-3881